

菜の花

伊豆の国市立長岡北小学校
学校だより 28/7/11 16号
Tel055-948-1062

平成28年度学校教育目標 「心ゆたかに たくましく」
重点目標 「考え 行動する子」



学校の様子はホームページに
たくさん載せています。
ぜひ、ご覧ください！



7月朝会

7月6日(水)に7月の朝会が行われました。既に体育館が使用できなくなっており、グラウンドで実施予定でしたが、当日は、小雨が降っていたので、学級で放送による朝会となりました。

校長先生から次の話がありました。

みんな同じように大切

一昨日、先生方の玄関のガラスにトンボがいるのを見つけました。トンボは何か小さなクモを捕まえているようです。トンボが虫を捕まえるところを見るのはあまりないなあと思っているうちに、トンボがぴくぴくしているのに気がつきました。近づいてよく見てみると、違いました。捕まえたのはトンボではなく、1センチもない小さなクモの方でした。次の時間ガラスの前を通った時、クモはもういなくて、トンボの死骸だけが落ちていました。

私は、その時、「かわいいトンボを捕まえて殺すなんて、憎らしいクモだな」と、クモを恨みました。「クモはかわいくないし、この世の中からいなくなった方がいいんじゃないのか」そんなふうにも思いました。

でも、調べてみると、家の中にいるクモはハエやゴキブリを食べてくれるいい虫だとわかりました。

じゃあ、ハエやゴキブリはいなくなってもいいのかというと、ハエは動物の死骸を土にするために大変大きな役割を果たしているのです。ゴキブリの方はよくわかりませんが、私は、こう思いました。人間の役に立つ立たないではなく、この世の中生きている動物や植物は、きっと何か役割を持っているのではないだろうか。いいかえると、どんなものにも、地球上の何かの役に立っているのではないだろうか。ということ。自然界では、必要のないものはきっと何も無いのだと思います。



そう考えると、人間も、みんな、何か役割をもって生まれてきているのだと思います。なにか、誰かの役に立つ、大切な役割を一人一人が持っているのだと思います。

ですから、これからも、私は、周りの人たちを大切に、仲良く、やさしく接していきたいと思いました。

交通安全を語る会

7月1日(金)に本校5・6年生を中心に「交通安全を語る会」が実施されました。

この会の目的は、「①交通事故の実態や、日頃の危険な状況についての関心や理解を深め、それぞれの地域のリーダーとして、交通安全に関して自

覚ある態度や実践的行動をとることができるようにする。②歩行者・運転者双方の立場から、生命を守るためのきまりやとるべき行動について、話し合いをし、理解する。③自分たちの安全が、警察や交通安全指導員・保護者・地域社会の方々など、たくさんの人々の努力によって守られていることを知る。」以上の3点です。

学校に来ていただいた方は次の方々です。

- ・大仁警察署担当 同 交通安全指導員
- ・伊豆の国市地域づくり推進課担当 同 教育委員会 同 交通指導員
- ・PTA役員（会長，副会長，校外指導委員，交通安全母の会）

会では、大仁警察署から、「最近の交通事故の傾向と子どもの交通事故について」の報告があり、その後、登下校で分けたグループで「通学路で危険だと思われるところ（歩行者側，運転者側から）」「通学路での危険をどうやって避けたらよいか」「警察や地域の方への要望について」等が話し合わせ、最後に次の宣言を行い、会を終了しました。

交通安全宣言

テレビや新聞で，毎日のように交通事故のニュースが報道されています。わたしたちの伊豆の国市でもよく大きな事故があります。現在の自動車社会の中で，わたしたち学校でも交通事故についてみんなが真剣に考えなければならないと思います。

今日の「交通安全リーダーと父母と交通安全を語る会」を出発点として，わたしたち交通安全リーダーが中心となり，交通ルールを守り，交通事故ゼロに向けて努力していきます。

平成28年 7月1日 長岡北小学校 交通安全リーダー



薬学講座

6月30日(木)に薬学講座が開かれました。「たばこによる人体への影響を知ることで、自他の健康を守ろうとする強い気持ちを育てる。」ことを目的として6年生(22名)と参加を希望する保護者を対象としました。

講師は喫煙防止教育卒煙アドバイザー 花村一男先生と学校薬剤師の福本奈緒子先生にお願いし、「たばこから脳を守ろう」というテーマで講演していただきました。

